

4.保健師に求められる実践能力と卒業時の到達目標と到達度

【用語の説明】

■「個人/家族」:個人や家族を対象とした卒業時の到達度

「地域(集団/組織)」:集団(自治会の住民、要介護高齢者集団、管理的集団、小学校のクラス)や組織(自治体、事業所、学校等)を含む地域の人々を対象とした卒業時の到達度

■卒業時の到達レベル

I:少しの助言で自立して実践できる

II:指導のもとで実施できる(指導保健師や教員のもとで実施できる)

III:学内演習で実施できる(事例等を用いて模擬的に計画を立てたり実践できる)

IV:知識としてわかる

※保険氏の技術は広範囲であり、大項目や中項目のみならず、小項目の中にも含まれている。実際の保健活動では、個人や家族、地域(集団/組織)の状況に応じてそれらを複数組み合わせ提供提供する。

表1

実践能力	卒業時の到達目標				到達度	
	大項目	中項目	小項目		個人/家族	集団/地域
I 地域の健康課題の明確化と計画・立案する能力	1. 地域の健康課題を明らかにし、解決・改善策を計画・立案する	A. 地域の人々の生活と健康を多角的・継続的・包括的にアセスメントする	1 身体的・精神的・社会文化的側面から発達段階も踏まえて客観的・主観的情報を収集し、アセスメントする		I	I
			2 社会資源について情報収集し、アセスメントする		I	I
			3 生活環境について、物理的(気候、空気、水等)及び社会的(文化、人間関係、経済等)側面から情報を収集しアセスメントする		I	I
			4 対象者の属する地域・職場/学校生活集団について情報を収集し、アセスメントする		I	I
			5 健康問題を持つ当事者の視点を踏まえてアセスメントする		I	I
			6 系統的・経時的に情報を収集し、継続してアセスメントする		I	I
			7 収集した情報を統合してアセスメントし、地域(集団/組織)の特性を明確にする		I	I
		B. 地域の顕在的、潜在的な健康課題を明確にする	8 顕在化している健康問題を明確にする		I	I
			9 健康課題を持ちながらそれを認識していない・表出しない・表出できない人々を把握する		I	II
			10 潜在化している健康課題を明確にし、今後起こりうる健康課題を予測する		I	II
			11 地域の人々の持つ力(健康課題に気づき、解決・改善、健康増進する能力)を把握する		I	I
		C. 地域の健康課題に対する活動を計画・立案する	12 健康課題について多角的に判断し、優先順位を付ける		II	II
			13 健康課題に対する解決・改善に向けた目的・目標を設定する		I	I
			14 地域の人々に適した支援方法を選択する		I	I
			15 目標達成の手順を明確にし、実施計画を立案する		I	I
			16 評価の項目・方法・時期を設定する		I	I
II 地域の健康増進能力を高める個人・家族・集団・組織への継続支援と協働・組織活動及び評価する能力	2. PDCAサイクルに基づき、地域の人々・関係者・関係機関等と協働して、健康課題を解決・改善し、健康増進能力を高める	D. 活動を展開する	17 地域の人々の持つ力を引き出し、高めるよう支援する		II	II
			18 地域の人々が意思決定できるよう支援する		II	II
			19 健康課題に応じた訪問・相談による支援を行う		II	II
			20 健康課題に応じた健康教育による支援を行う		II	II
			21 地域組織・当事者グループ等の育成及び活動の支援を行う		II	II
			22 活用できる社会資源及び協働できる機関・人材について、情報提供をする		I	I
			23 支援目的に応じて社会資源を活用する		II	II
			24 当事者及び関係者・関係機関(産業保健・学校保健を含む)等でチームを組織する		II	II
			25 集団的・組織的アプローチ等を組み合わせて活動する		I	II
			26 地域・職場・学校等の場において法律や条例等を踏まえて活動する		I	I
			27 目的に基づいて活動を記録する		I	I
		E. 地域の人々・関係者・関係機関等と協働する	28 協働するためのコミュニケーションをとりながら信頼関係を築く		I	I
			29 活動目的及び必要な情報を共有する		I	II
			30 相互の役割を認識し、連携・協働する		II	II
		F. 活動を評価・フォローアップする	31 活動の評価を行う		I	I
			32 評価結果を活動にフィードバックする		I	I
			33 継続した活動が必要な対象を判断する		I	II
			34 必要な対象に継続した活動を行う		II	II

実践能力	卒業時の到達目標					到達度	
	大項目	中項目	小項目			個人/家族	集団/地域
Ⅲ. 地域の健康危機管理能力	3. 地域の健康危機管理を行う	G. 平時から健康危機管理体制を整える	35	健康危機(感染症・虐待・DV・自殺・災害等)の発生予防・減災対策を講じる	Ⅱ	Ⅲ	
			36	健康危機の発生予防・減災対策の教育活動を行う	Ⅱ	Ⅱ	
			37	健康危機管理体制を整える	Ⅲ	Ⅲ	
			38	生活環境の整備・改善について提案する	Ⅱ	Ⅲ	
		H. 健康危機の発生に対応する	39	健康危機に関する情報を迅速に把握し、対応する	Ⅲ	Ⅲ	
			40	関係者・関係機関等の役割を明確にし、連絡・調整を行う	Ⅲ	Ⅲ	
			41	保健・医療・介護・福祉等のシステムを効果的に活用する	Ⅲ	Ⅲ	
			42	健康危機の原因究明を行い、解決・改善・予防策を講じる	Ⅲ	Ⅲ	
			43	健康危機の増大を防止する	Ⅲ	Ⅲ	
		I. 健康危機発生後からの回復に対応する	44	健康危機の発生からの回復に向けた支援を行う	Ⅲ	Ⅲ	
			45	健康危機への対応と管理体制を評価し、見直す	Ⅳ	Ⅳ	
Ⅳ. 地域の健康水準を高める事業化・施策化・社会資源開発・システム化する能力	4. 地域の人々の健康を保障するために、公平・公正に制度や資源を管理・開発する	J. 事業化する	46	必要な情報を収集し、事業化の必要性を明確にする	Ⅰ		
			47	事業化の必要性を地域の人々や関係する部署・機関に対し根拠に基づき説明する	Ⅲ		
			48	地域の人々の特性・ニーズ等の根拠に基づき、法や条例、組織(行政・事業所・学校等)の基本方針・基本計画との整合性を踏まえて事業を立案する	Ⅲ		
			49	予算の仕組みを理解し、根拠に基づき事業の予算案を作成する	Ⅳ		
			50	事業化のために、関係する部署・機関と協議・交渉する	Ⅲ		
			51	立案した事業を実施し、安全(面)を含めた進捗管理を行う	Ⅳ		
			52	事業をストラクチャー・プロセス・アウトカム・アウトプットの観点から評価し、成果を説明する	Ⅲ		
			K. 施策化する	53	地域及び組織の基本方針・基本計画の策定に関与する	Ⅳ	
		54		必要な情報を収集し、施策化の必要性を明確にする	Ⅰ		
		55		施策化が必要性を地域の人々や関係する部署・機関に対し根拠に基づいて説明する	Ⅲ		
		56		施策化のために、関係する部署・機関と協議・交渉する	Ⅲ		
		57		地域の人々の特性・ニーズ等の根拠に基づき、法や条例、組織(行政・事業所・学校等)の基本方針・基本計画との整合性を踏まえて施策を立案する	Ⅲ		
		58		立案した施策を実施し、進捗管理を行う	Ⅳ		
		59		施策をストラクチャー・プロセス・アウトカム、アウトプットの観点から評価し、成果を説明する	Ⅳ		
		L. 社会資源を活用・開発・管理する	60	活用可能な既存の社会資源とその利用上の課題及び新たな社会資源の開発の必要性を明確にする	Ⅲ		
			61	地域組織やサービスを既存の社会資源として活用、または開発する方法を選定する	Ⅲ		
			62	サービスを既存の社会資源として活用、または必要な社会資源を開発する	Ⅲ		
			63	健康課題にかかわる社会資源が機能しているか継続的に評価・改善する	Ⅲ		
			64	健康課題にかかわる社会資源の室管理をする	Ⅳ		
		M. ケアシステムを構築する	65	ケアシステムを構築する必要性を明確にする	Ⅰ		
			66	関係する部署・機関や地域の人々と協働してケアシステムを構築する	Ⅲ		
			67	ケアシステムが機能しているか継続的に評価する	Ⅲ		
Ⅴ. 専門的自律と継続的な質の向上能力	5. 保健・医療・福祉及び社会に関する最新の知識・技術を主体的・継続的に学び、実践の質を向上させる	N. 倫理的課題に対応する	68	地域における弱い立場にある(支援を求めない/求めることができない)人々の尊厳と人権を擁護する	Ⅰ		
			69	集団・組織の健康・安全と個人の人権との間で起こる倫理的問題について対応する	Ⅱ		
			70	保健師活動の基本理念としての社会的正義・公正に基づき、支援を行う	Ⅱ		
			71	地域の人々の生活の文化に配慮した活動を行う	Ⅰ		
			72	地域の人々のプライバシー権の侵害となる個人情報や組織の情報の保護・保存に配慮した情報の管理を行う	Ⅰ		
		O. 研究の成果を活用する	73	保健師活動に研究の成果を活用する	Ⅲ		
			74	経済的状況を含めた社会情勢と地域の健康課題の関係性を踏まえて保健師活動の研究・開発を行う	Ⅲ		
		P. 継続的に学ぶ	75	社会情勢・知識・技術を主体的・継続的に学ぶ	Ⅰ		
			76	組織として人材育成方を理解・活用する	Ⅳ		
		Q. 保健師としての責任を果たす	77	保健師として活動していくための自己の課題を明確にする	Ⅰ		